

つづる

した状況を打開しようとする。中部病院の臨床研修制度を米ハワイ大学の協力の下、米研修プログラムを導入し、2年には北部病院や南部医療センターでも実施。臨床事業の修業者は千人のうち約60%が県内に残るなどの医師確保に大きく貢献した。「回し」がないといわれる救急医療体制の構築にもつ

度の8期生として研修を受け、伊江朝次病院事業局長は記念本県のみならず、優秀な医師に排出し、研修制度に影響を及ぼしている」と評価した。

年を記念した式典と講演会が午後1〜5時まで、直野湾市のコンベンションセンター劇場棟で行われる。元中部病院院長の真栄さんが「臨床研修の原点とブツシヨナリズム」と題した講演のほか、記念シンポジウムもある。入場は無料で、来場者に誌を配布する。

「柵や金網、標識はなかった」として立ち入り禁止の認識はなかったとした。沖縄防衛局職員を押し倒した



文部科学大臣賞を受け取る県立図書館の原裕昭さん(左)と8日、神奈川県横濱市(地方創生シニア大賞実行委員会提供)

地域活性化の図書館表彰 県立図書館に最高賞 移民ルーツ探し協力評価

図書館が情報検索を手伝う「シニアシニア」(調査相談機能)を通して地域活性化に取り組んだ優秀な事例を表彰する「2017年度地方創生シニア大賞」(同実行委員会主催)で、最高賞に相当する文部科学

大臣賞に沖縄県立図書館が初めて選ばれた。海外に住む県民の相談に対応し、祖先である県民二世の名前や出身地などルーツを調べて伝えるサービスが評価された。表彰式が8日、神奈川県横濱市で開かれた。

津波防災へ行動計画

高校生島サミット閉幕 大使ノート発表

アジア・太平洋25カ国の高校生約250人が地震に

よる津波や自然災害対策を学ぶために直野湾市の沖

コンベンションセンターで開催された「世界津波の日」2017高校生島サミットは、8日、防災対策で会員制交流サイト(SNS)を活用するなど盛り込んだ行動計画「大使ノート」を発表して閉幕した。「過去から学び、未来を守ろう」などを合言葉に、サミットの議論を自国に持ち帰り、自分ができることを実行する



を手にする那覇国際高校1年の「ノート」をシェアセンターで発表する。2017高校生島サミットは、8日、防災対策で会員制交流サイト(SNS)を活用するなど盛り込んだ行動計画「大使ノート」を発表して閉幕した。「過去から学び、未来を守ろう」などを合言葉に、サミットの議論を自国に持ち帰り、自分ができることを実行する

どが盛り込まれた。

サミットには県内からも7校が参加した。美来工科高校は防災後対策として避難先を案内する携帯電話用アプリケーションの導入などを提案した。問題点にコストや使用法を挙げ「私たちは工業高校なので、少しでも使いやすくなるようなアプリの開発やサポートをしたい」と展望を語った。

岩手県の釜石高校は、2011年3月の東日本大震災の津波被害を受けて、津波被害を防ぐハザードマップを作製したことを報告した。04年のインド洋大津波で被害を受けたインド洋に浮かぶセーシエルの高校生は「インド洋の各国が参加

参加者が、(防災)自分の国以外の事例を知り、行動する助けになった」と話した。

「同じ苦しみを背負わないで」

過労死記者の母が訴え、NHK首都圏放送センターの記者で2013年に過労死した佐戸未和さん(当時31)の母恵美子さん(69)が8日、東京都内で開かれた過労死や過労自殺防止の啓発シンポジウムで登壇し、「私たちと同じ苦しみを背負う人が今後一度と現れないことを切に願う」と訴えた。

食べたい、無理は

生

こ

来

よ

お菓子・甘

生活習慣を

こんなに

脂肪

玄米の「ヌカ」と胚芽には糖質の燃焼に必要なビタミンB1が白米の約20倍。食物繊維は、ほうれん草の約10倍も含有